

# 10号館共同利用施設 案内

主任：永島 すえみ  
(小児看護学ユニット：内線762)

## 機器・備品名

- 1: ペアセンサ差分方式2chデジタル発汗計 & 生体 計測ソフトウェア (SKD・2000)
- 2: アクチウォッチAW-L照度センサー付
- 3・4: アクティブトレーサー装着ベルト付
- 5・6: 体組成計BC-118E
- 7: こころメーター & チップ

## 保管場所

- ・1・2・3・4・7: 5階 成人・母性看護学実習室準備室
- ・5・6: 6階 地域・老年・リハビリテーション看護学実習室

## 使用用途

- 1: 不感蒸泄・精神的発汗・温熱性発汗を計測することができる。
- 2: 加速度計であり活動量が計測できる。また、付属の光センサーで受光量も同時に計測することができる。
- 3・4: 日常生活活動を、心拍数(R-R間隔)と活動度(加速度センサーと傾斜センサー)で記録、専用のソフトで心拍変動解析すると同時に、日内変動リズム解析も行うことができる。
- 5・6: 部位別の体組成量が算出できるため、リハビリテーション・スポーツ分野の訓練・トレーニングの効果測定や、体力判定・運動処方、予防医学の評価、食事療法・運動療法の効果測定、健康教育の動機付けに利用できる。
- 7: 唾液アミラーゼ値が計測できる。



# 利用の手引き

10号館 5階 成人・母性看護学実習室準備室

6階 地域・老年・リハビリテーション看護学実習室

## 1. 10号館5階・6階の実習準備室及び実習室の使用について

看護学部学生の演習や臨地における実習前の技術練習に使用する教室です。共同利用の機器・備品以外の設備・備品が備えられていますので、普段は入口は常時鍵がかかっています。使用するときには、学生の演習や技術演習と重ならない時に限定されます。借用するときには、機器備品の下記の看護学部の保管者に直接電話で依頼してください。

- ・ペアセンサ差分方式2chデジタル発汗計 & 生体計測ソフトウェア(SKD・2000):永島(内線762)
- ・アクチウォッチAW-L照度センサー付:田口教授(内線756)
- ・アクティブレーザー装着ベルト付:夏山講師(内線769)
- ・体組成計BC-118E:岩郷講師(内線770)
- ・こころメーター & チップ:田口教授(内線756)

2. 消耗品は基本的に利用者が各自で用意してください。
3. 各機器の使用を申請するときには、保管者に電話をして日程等を確認してください。
4. ソフトウェアは、保管者が研究で使用するパソコンに保存されているとき等、借用できない場合が生じます。上記の各保管者にお問い合わせください。

# 利用の手引き

## こころメータ:

唾液中に含まれる消化酵素のひとつの唾液アミラーゼ(唾液中の $\alpha$ -アミラーゼ)を非侵襲・簡単に測定できる分析装置であるが、使用にあたっては温度補正が必要である。正確なデータが要る場合は、唾液を外注検査に出し、定量化する必要がある。

## アクチウォッチ:

体動のレベルとその頻度に対応した信号を加速度計により発生させ、体動をアクティビティ・カウントとして記録できる。

専用のソフトを使用して解析することにより、アクトグラムの視察から活動リズムを把握したり、睡眠効率を算出することができる。腕時計と同じ感覚で装着でき、被験者にかかる負担が少ないのが特徴。

しかし、精密機器であるため水に弱いので留意が必要である。

## アクティブトレーサー:

日常の生活活動を、心拍数(R-R間隔)と活動度(加速度センサと傾斜センサー)で記録できる。小型・軽量で、日常生活に携帯して測定できる。3軸の加速度センサーを内蔵、あらゆる方向の動作に対応し、1/1000秒の精度でR-R間隔を検出、加速度は最短50Hz(波形モード)で測定することも可能である。身体への装着は専用ベルトで取り付けるが装着角度等が不均一になると正確に記録できない恐れがあるので注意する必要がある。測定した結果は下記の専用ソフトなどで読むことが可能。

(テキスト形式で保存および表計算プログラムなどで読むことが可。)

### <アクティブトレーサー専用ソフト: MemCalc/Sorong>

心拍数トレンドグラフに自律神経指標やSAS領域を選択し表示。

(詳細な心拍数の推移と行動量・傾斜量の推移を同時に表示)

睡眠時無呼吸などによる影響を推測し独自の検索も可能。